

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	死亡前 30 日の在宅医療介護費と入院医療費の比較調査
演者名	村上典由, 北山撰, 木内大介, 遠矢純一郎
所属	医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告 2. 症例シリーズ報告 3. コホート研究 4. 症例対照研究 5. 調査研究 6. 介入研究 7. 二次研究 8. 質的研究 9. その他研究	NO.
		5

<目的>

昨今、地域包括ケアシステムの構築と共に在宅医療とそれに伴う自宅での看取りが推進されているが、持続可能なモデル形成のためにも経済的な面からの検証が必要である。しかしながら、終末期の医療費に関しては、2007 年に日本医師会総合政策研究機構（以下、日医総研）による死亡前入院費の調査はあるが、在宅医療・介護にかかる費用の研究や入院費用と比較した研究はほとんど無い。

<方法>

2013 年 10 月からの 1 年間、当院の在宅医療での死亡症例 111 例の内、費用調査可能な 70 例（自宅 58 例、施設 4 例、病院 8 例）について、死亡前 30 日以内の 1 日当たり在宅医療介護費（薬剤料除く）の調査分析を行った。次に算出した在宅医療介護費と前出の日医総研調査による死亡前 30 日以内の 1 日当たり入院医療費との比較検討を行った。尚、調査が難しい介護費用については、要介護度別に公表されている居宅サービス受給者平均給付額を適用した。

<結果>

- ① 死亡前 30 日以内の 1 日当たり在宅医療介護費の平均値は 24,960 円であった。またその内訳は医療費 20,170 円、介護費 4,780 円であり医療費が 80%を占めた。
- ② 主病名別ではがん 28,550 円 (36 例)、脳血管疾患 14,150 円 (4 例)、認知症 17,700 円 (5 例) と、がんが最も高い結果であった。
- ③ 前出の日医総研の調査結果である死亡前 30 日以内の 1 日当たり入院医療費 30,980 円(薬剤料除く)と比較すると、在宅医療介護費 24,960 円は約 20%低い。

<考察>

死亡前 30 日以内の 1 日当たりの在宅医療介護費は 24,960 円であり、入院医療費と比べると約 20%低く、費用抑制効果があることがわかった。すなわち自宅での看取りの推進は、病院で死亡した場合に比べて経済的な面にも寄与することがわかった。

ただし、当調査では正確な解析ができていない介護費用、薬剤料、また家族介護などのインフォーマルサービス費用についても更に詳細な調査・検証の必要性がある。